

## 「平成24年度 第1回 豊橋市自転車活用推進委員会」議事録

- 日 時 平成24年7月27日（金） 13時30分～15時50分
- 場 所 豊橋市役所 講堂
- 出席委員 別紙「出席者名簿」参照
- 傍 聴 人 11名
- 事 務 局 6名

- 〔会議資料〕
- 【資料1】・自転車まちづくり計画策定のポイント（講演資料）
  - 【資料2】・豊橋市自転車活用推進委員会設置要綱
  - 【資料3】・豊橋市自転車活用推進委員会の運営について（案）
  - 【資料4】・豊橋市自転車活用推進委員会傍聴要領（案）
  - 【資料5】・自転車利用実態調査（案）について
  - 【資料6】・今後のスケジュール（案）について
  - ・次第、出席者名簿、講師紹介

## 議 事

### 1. 開会

- ・有安副市長より挨拶

### 2. 委員紹介

- ・各委員の自己紹介
- ・事務局の紹介

### 3. 講演「自転車まちづくり計画策定のポイント」

- ・古倉委員より「自転車まちづくり計画策定のポイント」に関する講演が資料1に基づいて行われた。

〔質疑〕

なし

### 4. 豊橋市自転車活用推進委員会設置要綱について

- ・事務局より豊橋市自転車活用推進委員会設置要綱についての説明が資料2に基づいて行われた。

### 5. 委員長の選出について

- ・委員の互選により、委員長として廣畠委員が選出された。
- ・廣畠委員長より挨拶

### 6. 議事

#### (1) 副委員長の指名について

- ・廣畠委員長より、副委員長として古倉委員が指名された。

#### (2) 委員会の運営について

- ・事務局より、委員会の運営についての説明が資料3、資料4に基づいて行われた。

〔質疑〕

(委員)

- ・資料4 第3条に「会長」と書かれているが、これは委員長を指していると考えてよいか。

(事務局)

- ・「会長」を「委員長」に修正する。
- ・修正内容の確認は会長一任とすることが承認された。

### (3) 自転車利用実態調査（案）について

- ・事務局より、自転車利用実態を把握するための調査として今後実施するアンケート調査・交通量調査の概要の説明が資料5に基づいて行われた。
- ・また、一般市民を対象に行うアンケート調査の具体的な内容の説明が資料5に基づいて行われた。

〔質疑〕

(委員)

- ・ボリュームが多いが、一緒に渡すノベルティ（景品）はないのか。経験上、ノベルティがない場合は、4ページくらいがボリュームとして望ましい。
- ・問8の設問で、距離と所要時間を併記すると、時間しか答えない人がいる。そのため、距離がわからない場合のみ書いてもらう形式としたほうがいい。自転車は利用者により走行速度が異なるので、時間を書いていただいても分析が難しくなる。
- ・問19～22の自転車への転換に関する質問は、今後の都市交通体系での位置づけを考える上では、自動車からの転換のみに対象を絞って聞いたほうがいいと思う。
- ・問15では、放置自転車対策の例を具体的に示したほうがいい。撤去の強化や街頭指導の実施が考えられる。
- ・問27では、自動車の移動距離を目的別に把握したほうがいい。

(事務局)

- ・ボリュームが多くなっているが、全体的な施策の方向性を検討するための資料となるため、このままの内容で調査を行いたい。また、ノベルティと一緒に送付する予定はない。
- ・他の設問に関するご意見を取り入れて、修正した上で、調査を実施したい。

(委員)

- ・高校生へのアンケートは通学で自転車を利用している人に絞るのか。また、高校生にも地図を付けて配布を行うのか。

(事務局)

- ・高校生は、自転車利用者が全体の7～8割程度と聞いており、また事故も多い。市内の全高校の1学年を対象とし、通学での自転車利用の状況に絞った形でアンケート調査を行いたいと考えている。
- ・地図は、それぞれの高校を中心としたより詳細な地図を作成して、経路に加えて、危険を感じる箇所等も具体的に把握したい。

(委員)

- ・地図の縮尺が小さくて経路を書き込むことができない。配布する住民の住む地域の周辺地区を拡大した地図を配布する形式としたほうがいいのではないかと。

(事務局)

- ・地図は当初4枚で市全域をカバーする様式としていたのを7枚に増やしている。

- 対象世帯数が多いため、住む地域に合わせて個別に分けて配布するのは難しい。
- また、通勤通学の出発地、到着地は市内の広範囲になることが予想され、個別の地区の地図だけでは経路が記入できない。

(委員)

- 拡大した地図を用いると起終点を含んだ経路全体を記載するのが難しいということであったが、起終点が地図に入っていないくても、その地図内で通行する自転車経路を書き込んでもらえればいいのではないか。
- 過去の都市交通マスタープラン等で行ったアンケートの内容や結果を踏まえたアンケートとなっているか。

(事務局)

- 自転車のみを対象としてアンケート調査を行っていないので、あまり参考にならないと考えているが、利用できる部分がないかの確認は行いたい。

(委員)

- 市民アンケート 3000 票、高校生アンケート 2000 票の配布数の根拠はなにか。

(事務局)

- 過去の市の調査では回収率は 25～30%程度である。一般市民からの回答として、800票程度は回収したいと考えており、3000票とした。
- 高校生は、2年生を対象にアンケートをすることを予定している。1学年3000人おり、そのうち自転車通学している人ということで、2000人程度を想定している。

(委員)

- よく使う自転車ルートの起終点の施設名も明確に書いてもらった方がいい。
- 把握したルートの結果の利用方法として、そのルートのままを自転車ネットワークとするのか、調査を参考にして新たにネットワークを設定するのか。

(事務局)

- 自宅が起終点の場合は、自宅位置がわかってしまうことになるため、個人情報保護の観点から望ましくないと考えている。
- ルートの方向を参考にネットワークを設定するという結果の利用を考えている。

(委員)

- 他の市からの通勤者に対してアンケートすることは考えていないのか。

(事務局)

- エコ通勤の推進に関連して、市内の企業への調査を実施している。その中で、自転車に関する調査を行いたいと考えている。

(委員)

- 細かいことを一度に聞こうとしているため、ボリュームが多くなっている。回答に 1 時間以上要するのではないかと思う。なるべく簡単な内容にしてほしい。

- 自分の住んでいる地区では道路維持課がヒヤリマップを昨年作成した。ヒヤリマップが他の地区でも作成されているのであれば、有効に活用するべきである。
- 豊橋商業高校が毎年交通量調査をしているので、連携して交通量の把握を行うべきである。

(事務局)

- 今後の自転車施策の方向性の検討にあたって必要となる内容を聞けるように検討した上で、なるべくボリュームが多くならないように配慮して作成したので、なるべくこのままの内容で行いたい。
- ヒヤリマップについては道路維持課に作成状況を確認したい。
- 豊橋商業高校の交通量調査結果は、毎年都市交通課でもいただいております、有効に利用したい。

(委員)

- 高校生のアンケート回収を行うにあたって、自転車通学者のみを対象とすると、全員配布全員回収と比較して、回収に手間がかかるため、実施が難しい。

(事務局)

- 全員対象としなければ、調査が難しいのであれば、今後相談させていただき、調査対象者を変更したい。

(委員)

- ボリュームが多いのであれば、今年度、一度に全ての設問を調査するのではなく、複数年にわたって、内容を分けて調査すればいい。

(事務局)

- 今年度中に自転車利用推進計画の骨子を作成するため、一度に全ての内容を把握したいと考えている。

(委員)

- そもそも、豊橋市の自転車の課題や自転車推進の方向性を整理した上で、わからない内容を把握するためにアンケートをやるといった形で進めるべきである。
- どのような内容の自転車推進をやろうとしているのかわからないので、アンケートの内容を議論することができない。

(事務局)

- 市として、自転車に関する大規模な調査は行ったことはなく、まず市民の意向等の基本的なデータを集めてから、自転車推進の内容を議論していきたい。逆に、こうしたデータがなければ議論が深まらないと考えている。

(委員)

- アンケートで問題点を把握する中で、予想していない内容の課題が出てくるのが過去にあった。そのため、先にアンケートで、課題を把握した上で、推進計画を検討す

るという手順でもよいと思う。

(委員)

- 事前にこうしたことをしたいという議論があってから、アンケート設計に取り組むというのが本来の進め方だと思う。しかし、まず全体の課題を網羅的に把握した上で、推進計画を検討し、さらにわからないことは再度調査を行い、把握するということがいいと思う。

(事務局)

- 市としては、自転車ネットワークの形成、駐輪環境の改善、公共交通との連携を利用推進の主な目標と考えているが、この考えが市民の考え方と合っているかを確認したい。
- 追加の調査は場合によっては実施を検討したい。

(4) 今後のスケジュール(案)について

- 事務局より、今後のスケジュールについての説明が資料6に基づいて行われた。

[質疑]

なし

7. その他

- 特になし

8. 閉会